

氷菓を配って 交通安全啓発

半田署と日福大生

暑さやレジャー後の疲れで運転時の注意が散漫になることを防ぐと、半田署は十五日、美浜町上野間の農園「ジョイフルファーム鵜の池」で、交通安全を啓発するイベントを開いた。

日本福祉大の農業サークルも参加し、学生たちが自作したシャーベットとチラシを、来店客に配布した＝写真。



日福大の農業サークル

「Good Health Farm(グッドヘルスファーム)」は、ジョイフルファームでの農作業に参加しており、規格外の農産物の提供を受けている。シャーベットは提供を受けたイチゴ、ブルーベリー、サトウキビを原料に作ったもので、六十個を用意。啓発チラシと合わせて配布し、三十分ほどで配り終えた。

署によると、県内での交通事故死者数は、十四日現在で前年同期比十六人増の七十二人。署交通課の江本満裕警部補は「夏は気分が高揚して、飲酒運転などにもつながりやすい。シャーベットを食べて、事故も暑さもマイナスになれば」と話した。